

国際教育プログラムと学習成果分析

「グローバル人材を測る物差しを考える」

－Eポートフォリオの有効活用の可能性－

Learning Outcome Assessment for International Education Programs – Potentials in Effective Use of ePortfolio –

日時 2012年5月18日(金)

13:30～18:00(開場13:00) 18:30～レセプション

in 東京

会場 明治大学 アカデミーホール(アカデミーコモン3階)

定員 400名

言語 日英同時通訳  
(同時通訳機器貸し出し有)

参加費 無料(レセプションは会費制)

「グローバル人材」を巡っては産業界、高等教育界を中心に議論が展開されていますが、グローバルに活躍する人材の資質について、どのような定義をすることができるのでしょうか？本シンポジウムでは、海外学習体験が学生のキャリア形成にどのようなインパクトを与えているか、という学習成果分析(Learning Outcome Assessment)の研究を通じて、グローバル人材の資質に関わる議論を展開します。また、米国や豪州などで利用が推進されているEポートフォリオについて、実際の運用事例を紹介しながら、国際教育プログラムに関して学生の学びを可視化するツールとして、Eポートフォリオの可能性を検証していきます。

問題提起



「大学とグローバル人材育成」

飯吉 透氏

京都大学 京都大学高等教育研究開発推進センター 教授、  
株式会社朝日ネット 顧問

問題提起



「グローバル人材の資質とはなにか？」

宮田 裕子氏

ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス株式会社  
取締役・人事総務本部長

基調講演



“Evidence of Success:  
Assessing Student Learning Outcomes in International Education”

Dr. Darla Deardorff

Executive Director, AIEA\* / Research Scholar, Program in Education, Duke University  
\*AIEA: Association of International Education Administrators

講演



“ePortfolios and  
Outcomes Assessment”

Dr. Susan Kahn

Director, Office of Institutional Effectiveness;  
Director, Indiana University-Purdue University  
Indianapolis ePortfolio


講演



“The Potential of ePortfolios  
in Assuring Graduate Capabilities:  
An Australian Perspective”

Prof. Beverley Oliver

Pro Vice-Chancellor (Learning Futures), Deakin University;  
National Teaching Fellow, Australian Learning and Teaching Council

主催：明治大学国際教育研究所 協賛：

後援：明治大学国際連携本部、日本私立大学団体連合会、米国大使館、独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)、特定非営利活動法人 JAFSA(国際教育交流協議会)  
協力：公益財団法人日本英語検定協会、大学教育における「海外体験学習」研究会(JOELN)、公益財団法人インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢設立準備財団、  
特定非営利活動法人 Teach For Japan、一般社団法人日本ギャップイヤー推進機構協会(JGAP)、NPO法人ドットジェイビー、  
GiFT(Globalized Independent Future Talents)

※本シンポジウムは、文部科学省によるグローバル30事業(大学の国際化の為にネットワーク形成推進事業)の趣旨に基づいて実施いたします。

シンポジウムに関する情報、お申し込みはこちら <http://manaba.jp>

日時 2012年5月21日(月) 14:00～17:00(開場 13:30)

会場 立命館大学 衣笠キャンパス 創思館カンファレンスルーム

定員 100名

言語 日英同時通訳(同時通訳機器貸し出し有)

参加費 無料

基調講演 Dr. Darla Deardorff 講演 Dr. Susan Kahn, Prof. Beverley Oliver

in 京都

※東京でのシンポジウムの内容を一部変更し、開催いたします。詳細は <http://manaba.jp> をご覧ください。

